

沼津市 津波 ハザードマップ

津波避難訓練対象区域と避難場所を示しています。

第二地区
第二地区北
千本地区
(連合自治会)

まず
確認

- あなたのお住まいはどちらですか？
- 最寄りの津波避難ビルを探しましょう

(例) 二33 第二小学校

千本地区 11ヶ所

第二地区北 5ヶ所

第二地区 50ヶ所

津波到達時間 約5分



津波避難ビルを
表す標識

凡例

- 津波避難ビル
- 第3次地震被害想定推定津波浸水域^{※1}
- 津波避難訓練対象区域^{※2}
- このハザードマップの該当区域
- 4.3m 推定津波高(第3次地震被害想定)
- 10.8 防潮堤・堤防高(m)
- 2.9 海拔(m)

※1、※2は裏面参照

このマップは、静岡県第3次地震被害想定及び安政東海地震(1854年)による推定津波浸水域を基にしています。また、静岡県による第4次地震被害想定発表後に改訂を行います。本書はそれまでの暫定版となります。

津波避難ビルの指定状況は平成23年11月現在
津波避難ビルは、随時更新を行っています。最新の情報は市ホームページ
<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>
「危機管理情報」を参照下さい。

0 100 200 300 400 500m

津波避難訓練対象区域の自治会(第二地区・第二地区北・千本地区)

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
第二地区	下河原西町、下河原南部、下河原東部、千本常盤町、旭町、千本緑町、宮町、幸町、港湾区、下河原団地
第二地区北	本町一丁目、本町二丁目
千本地区	市道町、松下町、東間門、西浜町

津波避難ビル一覧(第二地区・第二地区北・千本地区)

No.	施設名	建物階数	外階段	No.	施設名	建物階数	外階段	No.	施設名	建物階数	外階段
二 1	聖隷沼津健康診断センター	3	無	二 23	千本エレガンス	4	無	二 45	ポートブリッジマンション	4	有
二 2	ゲストハウス	4	無	二 24	やいづ屋商会	3	無	二 46	沼津魚類協同組合製氷工場	5	有
二 3	アサヒハイツ	4	有	二 25	コーポ鈴木	3	有	二 47	(株)魚健ビル	3	有
二 4	エンゼルハイム旭町	4	有	二 26	マンションコルディア下河原	4	有	二 48	ぬまづみなどパーキング2号棟	5	有
二 5	エクセレントプラザ沼津	5	有	二 27	サーラシティ千本	5	有	二 49	羽野水産(株)外港冷蔵庫	3	無
二 6	旭町シティープラザ	5	有	二 28	トキワマンション	3	有	二 50	沼津港大型展望水門びゅうお	約30m	有
二 7	植松邸	3	無	二 29	ヴィラシャルマン	3	有	北 1	シャリエ沼津御成橋	15	有
二 8	リバーサイドマンション	4	有	二 30	めぞん千本	3	有	北 2	村松マンション	3	有
二 9	東栄ビル	4	無	二 31	ヴィラ千本	3	有	北 3	コーポ寿山	4	有
二 10	コーポラス高野	3	有	二 32	エンゼルハイム常盤町	4	有	北 4	メゾン・グランツ沼津浅間	13	有
二 11	芙蓉協会 管理棟	4	有	二 33	沼津市立第二小学校	3	無	北 5	タカハシビル	3	有
二 12	モン・ミュゼ沼津 沼津市庄司美術館	3	無	二 34	宮川實会計事務所	3	無	千 1	エンゼルコート88	3	有
二 13	リーフグリーン	3	有	二 35	沼津市中部浄化プラント(管理棟)	3	無	千 2	植松邸	3	無
二 14	聖隷沼津病院A棟	6	有	二 36	(株)五十嵐水産蓼原工場	3	無	千 3	野田米店	3	無
二 15	千本公務員宿舎	3	有	二 37	羽野水産(株)本社	3	無	千 4	合同宿舎千本住宅1号棟	3	有
二 16	隆魚商店	3	無	二 38	沼津魚類協同組合市場冷蔵庫	3	無	千 5	沼津市立第二中学校	4	無
二 17	(有)マルリ商店	3	無	二 39	ミルウエスト	3	有	千 6	沼津市立千本小学校	4	無
二 18	アイビス不動産	3	無	二 40	勝呂医院	3	無	千 7	静岡県立沼津西高等学校	4	無
二 19	エンゼルハイム下河原	7	有	二 41	千本ウェストコープ	3	有	千 8	植松Yコーポ	5	有
二 20	ダコタ・ハウス	5	無	二 42	(株)マルヤ水産社員寮	3	有	千 9	メゾンM2	3	無
二 21	コートピア千本	5	有	二 43	橋水産(株)	4	有	千 10	パレスシーサイド	3	有
二 22	ルピナス下河原	4	無	二 44	エステート・アベ	5	有	千 11	県営住宅千本団地	4	有

※避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビル等があります。
また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついていたり、障害物がある場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

ハザードマップの表示区域について

※1 第3次地震被害想定推定津波浸水域

静岡県が東海地震等の発生に備え策定した第3次地震被害想定で、津波が浸水すると推定される区域。

※2 津波避難訓練対象区域

沼津市で、これまで最も大きな被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、県の第4次地震被害想定が発表されるまでの間、緊急の津波対策や津波避難訓練に取り組みます。

地震・津波から身を守るために

突発地震が発生し、津波の危険があるときの避難行動を知っておきましょう。

突発地震発生

まず身の安全を確保

津波の危険

「少しでも早く! 少しでも高く!!」

津波から 避難場所 高台(避難路などで高台に避難)、津波避難ビル

避難するときの注意は?

- 1 我が身の安全を最優先
- 2 海と逆方向へ逃げる
- 3 車による避難は原則禁止

いつまで避難するの?

- 1 津波警報、注意報が解除されるまで避難場所にとどまる
- 2 波が引いてもすぐ戻らない
- 3 津波は第2波以降が最大の場合もある